



TITLE:

表紙・投稿規定・人のうごき・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・人のうごき・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 1970, 15(1)

ISSUE DATE:

1970-10-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/88149>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和45年10月20日発行（毎月1回20日発行）
物 性 研 究 第15巻 第1号

vol. 15 no. 1

物性研究

1970 | 10

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress**、**Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、**o** と **a** と **0** (ゼロ)、**u** と **n** と **rr**、**c** と **e**、**l** (エル) と **1** (イチ)、**x** と **×** (カケル)、**u** と **v** 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (**a** · **p** + **b**) **x** + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります
すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress**、**Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、**o** と **a** と **0** (ゼロ)、**u** と **n** と **rr**、**c** と **e**、**l** (エル) と **1** (イチ)、**x** と **×** (カケル)、**u** と **v** 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (**a** · **p** + **b**) **x** + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります
すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニュース・人のうごき

[北大・理・物理]

8月31日～9月 2日

D.T.Sellmyer (M.I.T)

8月25日～8月27日

Prof. S.A.Friedberg (Carnegie-Mellon 大学)

9月14日～9月17日

Dr. W.Keesom, 来札予定

} 来札

北大物性談話会

1970. 9. 2. 阿部 寛氏 (北大工応物)

「半導体における Magneto acoustic Effects」

講演会 (物理学会 道支部主催)

8月26日 Dr. S.A.Friedberg "Magnetic Ordering in
some one and two Dimensional Systems"

8月31日 Dr. D.T.Sellmyer "Electronic and Magnetic
States in Intermetallics and Alloys"

9月16日 Dr. W.Keensom "題未定" (予定)

[東大・理・物理]

LT12のため来日, 東大・理・物理を訪れ, また話をした人々

J.R.Clem (Iowa State)

M.P.Chapellier (Saclay) Nuclear Alignment

J.C.Swihart (Indiana)

J.Bardeen (Illinois) Problems Involving Space

Variation of Gap Parameters in Superconductors

P.M.Marcus (IBM)

B.H.Brandow (Battelle Seattle)

液体ヘリウムの多体論的取扱い (摂動理論)

ニュース・人のうごき

D. Pines (Illinois) Starquakes Probing the Interior
of Neutron Stars

W. M. Fairbank (Stanford) 予定

その他

C. H. Towns (California) Molecular Constituents of
Interstellar Matter

[東大・物性研]

守谷 亨氏 (物性研) California 大 (U.S.A.) より帰国

[京 大]

垣谷俊昭氏 京大・基研・助手に着任された。

武野正三氏 (京大・基研) ソ連邦における国際ゼミナールに出席の後、
英国オクスフォード大学理論物理学教室に約6ヶ月滞在する
ため、9月下旬渡欧された。

[阪大・基礎工]

- 。 永宮健夫教授が9月21日帰国した。(今年4月から主に米国オハイオ大学に滞在し、後磁性国際会議(グルノーブル)に出席して帰国)
- 。 望月和子助教授が9月21日帰国した。(磁性国際会議出席)
- 。 成田信一郎教授がボストンの半導体国際会議に出席して9月3日帰国した。

- 。 9月15日(敬老の日)にミネソタ大学の Nosanow 教授が来て、
“quantum crystal” について話をした。休みにもかかわらず、
50人位の人が集まった。

掲 示 板

基研研究会

「統計力学における基礎的諸問題」 参加者公募^{*)}

上記の研究会を開催することが第50回研究部員会議で承認されましたので次のような期日，予算で開催したいと思います。

期日 : 2月1, 2, 3,日(月, 火, 水)

予算 : 旅費 25万円

最近の基研の研究会は比較的テーマをしぼったproject的なものが多いなっていますが，これとは逆に種々の領域の研究者が自由に意見を交換しあい，今後の研究方向，問題点を見定めて行くような会を開きたいと考えています。

ここで言う統計力学の基礎とは広い意味のもので，例えば「エルゴード問題」のように限定された問題を指すものではありません。ただし短い会期中に余りにも興味の内容が発散しないため今回は一応

1) 多粒子系における秩序，および相変化のあり方に対する基礎的問題

2) 従来の統計力学の適用限界とその拡張に関する問題

を中心テーマに取上げることにしました。このような問題に深い関心を持ち研究会参加を希望される方は研究計画，提供される問題の概要をそえて12月末日までに基研共同利用事務室まで御応募下さい。ただし予算の関係上人選は世話人にお任せ下さい。

世話人 松原武生，森 肇，松田博嗣

*) これは先月号の再録です。

プレプリント案内

[東大・久保研]

- Theory of Magnetic Properties of Narrow Band Solids
(J.B.Sokoloff)
- Ergodicity, Constants of Motion, and Bounds for
Susceptibilities (Masuo Suzuki)
- Spin Waves in Ferromagnetic CrBr_3 Studied by Inelastic
Neutron Scattering (E.J.Samuelsen, Richard Silber-
glitt, G.Shirane)
- Decay of Order in Isotropic Systems of Restricted
Dimensionality II. Spin Systems
I. Bose Particle Systems:
(David Jasnow and M.E.Fisher)
- Singularity of Nonlinear Dynamical Response
-Critical Slowing Down in Ergodic and
Non-Ergodic Systems-
(Masuo Suzuki)
- Effect of Impurity Potential in the s-d Problem
(F.Shibata and K.Machida)
- Non-Parabolicity of Valence Bands of Germanium and
Silicon in Cyclotron Resonance Experiments
(Taizo Masumi)
- Electrical Conduction in a Narrow Band. III.
Green Function Method (N.Ohata)
- New Aspects of Excitons (Y.Toyozawa)
- A Calculus for Functions of Non-Commuting Operators*
and General Phase Space Methods in Quantum Mechanics

プレプリント案内

Part III: A Generalized Wick Theorem and Multi-time Mapping (G.S. Agarwal and E. Wolf)

- Fluctuations of Order Parameter and Hall Effect (H. Fukuyama, E. Ebisawa and T. Tsuzuki)
- Two Magnon Absorption and Magnon Sideband in K_2NiF_4 Type Antiferromagnets (H. Kamimura, N. Suzuki and S. Watarai)
- Superconducting Fluctuation Effects on the S-I-N junction Current (Hajime Takayama)
- Statistical Approach to Optical Coherence Theory (Tomomasa Nagashima)

[日大・理工]

- Interband Effects in Orbital Magnetism and Hall Conductivity (R. Kubo and H. Fukuyama)
- Dynamic Effects in Hard Superconductors (M. Spadoni)
- Introduction Notes on the Stabilization of Superconducting Materials (M. V. Ricci)
- La Superconduttività nell'Elettrotecnica (G. Sacerdoti)

編 集 後 記

- 京都大学の封鎖が，機動隊の手によって解除されてから，はや一年になります。一年以上に亘る学園闘争の中で提起された多くの問題は，どうなってしまったのでしょうか。学内を見渡しますと，旧態依然たる，いやむしろそれ以上に後退した様子が見受けられ，今更ながら権力者の強大さを思い知らされます。
- さて，今月号には「分子結晶における相転移と分子運動」の研究会報告が掲載されています。これは，基研で行なわれた研究会ですが，各地で行なわれます研究会には，興味があっても参加出来ない方が多勢おられる事と思います。この様な形の研究会報告が，少しでも，情報交換等研究の役に立てばと，思っております。又，本誌には特派員制度が設けられています。(Vol 14/4, 7月号(1970)参照) 読者諸氏が，特派員制度を大いに活用される事を期待しております。
- 九月初旬に行なわれた極低温物理学国際会議を少しのぞいてみましたが，印象的だった事は，この会議が非常にくだけた会議だったという事です。とくに Pines 教授が，一見暗黒街のボスという感じで，黄色のワイシャツ，ノーネクタイで講演したのには驚ろかされました。本誌も又，この様に，気軽に投稿できるくだけた雑誌でありたいと思っています。

(T. O.)

物 性 研 究

第 1 5 卷 第 1 号
1970年10月20日発行

発行人 松 田 博 嗣
京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所
京都市上京区上長者町室町西入
TEL(441) 1659 (430) 4789
発行所 物 性 研 究 刊 行 会
京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

「分子結晶における相転移と分子運動」

上記題目の研究会が1970年7月20日から22日まで、京大基礎物理学研究所で行われた。プログラムは下記の通りである。内容を以下に簡単に報告する。なお大変有意義な研究会であったので、引き続き研究会を持ちたいとぞんでいる。

世話人	伊藤光男
	片岡洋右
	中村伝
	本間重雄
	山本常信

プログラム

(第1日)

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ○ 簡単な分子結晶における相転移 | 中村伝 (阪大基礎工) |
| ○ 固体水素における libron | 本間重雄 (名大工) |
| ○ 固体水素における基底状態に関する諸問題 | 宮城宏 (阪大基礎工) |
| ○ 分光学的方法から見た分子結晶における分子運動 | |

伊藤光男 (東北大理)

(第2日)

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| ○ ハロゲン化水素固体の相転移 | |
| (序論, 構造分析) | 星埜禎男 (東大物性研) |
| (分光学) | 伊藤光男 (東北大理) |
| (熱測定と Resonance) | 千原秀昭 (阪大理) |
| (理論) | 花村栄一 (東大物性研) |
| ○ 熱測定・Resonance から見た分子結晶における相転移と分子運動 | |

千原秀昭 (阪大理)

基研研究会報告

(第3日)

- | | |
|--|-----------------|
| ○ 固体メタンにおける相転移 | 片岡 洋 右 (京大理) |
| ○ 分子間相互作用と結晶場 | 安 田 秀 雄 (京大理) |
| ○ 希ガス固体中の CH_3D の赤外線吸収 | 西 山 賢 一 (京大理) |
| ○ 固体メタンにおける赤外線吸収の問題点 | 西 山 賢 一 (京大理) |
| ○ Angular Relaxation | 清 水 博 (九大薬) |
| ○ 固体メタンにおけるNMRの T_1 の解析 | 岡 田 謙 吉 (京大理) |
| ○ 固体水素におけるNMRの T_1 | 浜 重 一 朗 (阪大基礎工) |
| ○ Theory of Translational and Orientational Melting with
Application to Liquid Crystals | 小 林 謙 二 (東大物性研) |

購読規定

個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって
3月末までになるだけ(1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、
100円お支払い下さい。

※ 1年間の会費

1st volume 960円

2nd volume 960円

計 1,920円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vol. 以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. 1,800円です
この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

物 性 研 究 15—1 (10月号) 目 次

○ 神経方程式(Ⅱ).....	大貫 信 ...	1
○ 不活性気体とアルカリ金属の融解曲線	樋渡 保秋 ...	11
○ 理想三相モデルについて	松田 博嗣 ...	21
○ 人のうごき, ニュース.....		25
○ 掲 示 板.....		27
○ プレプリント案内.....		28
○ 編 集 後 記.....		30
○ 基研研究会報告		
「分子結晶における相転移と分子運動」		C1

物 性 研 究 15—1 (10月号) 目 次

○ 神経方程式(Ⅱ).....	大貫 信 ...	1
○ 不活性気体とアルカリ金属の融解曲線	樋渡 保秋 ...	11
○ 理想三相モデルについて	松田 博嗣 ...	21
○ 人のうごき, ニュース.....		25
○ 掲 示 板.....		27
○ プレプリント案内.....		28
○ 編 集 後 記.....		30
○ 基研研究会報告		
「分子結晶における相転移と分子運動」		C1